

「ほっかいどう学」地方創生塾（鷹栖町）

1年目 第1回

日時

令和2年8月22日（土） 14時～16時

会場

鷹栖地区住民センター

参加者

9名（高校生5名、教育委員会職員2名、上川教育局2名、北海道立生涯学習推進センター1名）

内容

「鷹栖町高校生プロジェクト」の第1回は、申込してくれた高校生5名（うち1名は欠席）と、当日飛び入りの1名を加えてのスタートとなりました。初めて会う人もいたので、参加者同士のこと、この事業のことを“知る”ことに重点を置き、アイスブレイクの要素を取り入れて実施しました。

講師の草野氏から、この事業の進め方やコンセプトを説明いただいた後、関わる大人も含めての自己紹介を行いました。高校生の参加理由はそれぞれで、中には「町長になりたい」との思いを持って参加した方もいました。個性あふれるメンバーが集いました。

その後、町教育委員会から、この事業を立ち上げた経緯を説明した後、集まってみでの感想やこれからどんなことができるだろうか、少人数グループで意見交換しました。「このような事業に参加できて楽しい」や「高校生ならではの企画をしてみたい」、「町のシンボルづくりはどうか」、「人を呼ぶイベントをやってみたい」など、大人顔負けの意見も飛び出し、有意義な初回となりました。



講師からの事業の説明

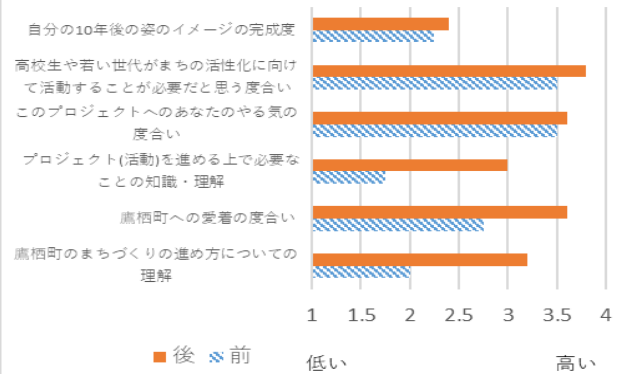


グループでの意見交換

アンケートの結果（事前・事後）

参加者の感想には、「この町ではどのようなことができ、どのようなことをすればよりよい町になっていくのかを常に考えて生活していきたい」や「鷹栖の良さを改めて知った気がしました。日々の生活から活性化について考えてみようと思うきっかけになった」と前向きな回答があったことから、創生塾を通して「鷹栖町への愛着の度合い」や「鷹栖町のまちづくりの進め方についての理解」がさらに高まったと考えられます。

第1回創生塾前後の意識変容調査結果



成果と課題

自ら手を挙げ参加してくれた高校生。理由は様々ですが、十分な可能性を秘めた方が多く、高校生ならではの本音トークにより、楽しみながら良い雰囲気の中で初回を終えることができました。少人数ならではの良さが生かされたように思います。

次回以降、少し具体的に話を進める中で、しっかりと高校生の主体性を生かしていけるよう、大人たちがサポートし、展開していけたらと考えています。